

実施日：5月10日（5，6校時）	
領 域：総合的な学習の時間	
取組名：e-ネット安心講座	
対 象：全校生	実施場所：体育館
ア ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット社会の影の側面を理解し、インターネットを安全に活用する方法を学ぶ。 ・ ネット上の問題は身近な事象であることを認識し、被害を受けない、加害者にならない姿勢をつくる。 ・ 家庭と連携し、安全な使い方を習得する。 	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演(DVD視聴含む)を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ケータイ依存 ・ ネットいじめ ・ ネット誘引 ・ ネット詐欺 ・ フィルタリング ・ 7つの約束 ・ 感じたこと、考えたことをまとめ、クラスで発表し合う。 ・ 感想を学年便りに掲載し、保護者への啓発を行う。 	
ウ 連携先：e-ネットキャラバン 兵庫県警察本部	
エ 連携にむけての取組 <p>携帯電話・スマホ所持者が増加している。そのため、家庭との連携が必要となってくる。保護者に対しては、4月のPTA総会時に保護者向けのネット教室を実施し啓発を行った。講師には、兵庫県警察サイバーパトロールモニターの篠原嘉一氏を招き、「インターネット・スマホ大丈夫？」という演題で講演をしていただいた。</p>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に講演で使用する資料をいただき、職員研修を行った。 ・ 講演後、生徒指導主任からまとめの話と補足的な話を行い、講演の深化・補充を行った。 ・ 生徒に感想を書かせることで、講演で聴いた知識を定着させた。 	
カ 評価の方法 <p>感じたこと、考えたことを書かせ、クラスで発表し合う。</p>	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットの影の部分意識しながら生活する生徒が増えてきている。 ・ 携帯電話やスマホを利用する上で、家庭で話をするきっかけづくりになった。 ・ インターネット使用のルールづくりをする家庭も出てきた。 	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の教育力のない保護者、ネット教室不参加の保護者やスマホを与えるだけの保護者に、情報モラルの大切さを理解させるにはどんな関わりをするか。 ・ 生徒たちに適切なアドバイスができるよう、教師側の研修が重要である。 	